ご挨拶

第22回日本語教育連絡会議は、オーストリアの首都ウィーンで、8月27日と28日に開催されました。

2000年に第13回会議を引き受けてから、はや9年、その間に流通貨幣としてのユーロが導入され、EU加盟国も27カ国に増えました。世の中の移り変わりに驚くばかりです。

今回は開催国オーストリアはもとより、日本、ハンガリー、セルビア，チェコ、スロベニア、ドイツ、トルコから49名が参加しました。2日とも、間に休憩を挟んでとはいえ、朝9時から夕方6時過ぎまで発表が続くというかなり過密なスケジュールだったにもかかわらず、ほとんど全ての参加者が全日程に参加しました。

発表も、日本語学、社会言語学、言語教育、異文化理解、実践報告、果ては社会学と、連絡会議の伝統とよさを十分に感じさせる実に多様な内容でした。質疑応答の時間にも質問、コメント、提案が活発に出され、充実した会議となりました。

事務局としては、最低限のことしかできませんでしたが、参加者皆さんのご協力により、会議を無事終わらせることができました。この場を借りて感謝の意をささげます。

ウィーン大学東アジア研究所日本学科
マダドナーめぐみ